

聖パウロ学園 同窓會會報

第3号

平成5年7月20日発行

発行所

聖パウロ学園内
同窓会事務局
〒525
草津市野路町178
☎0775-64-5600

今、新しいステージへ

会長 西堀 大介



同窓生の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。
同窓会は、本年、第三期の卒業生六十四名を新会員として迎え、会員数は合計四百名近くになりました。

母校におきましては、ご教、同志社など有名大学をの三月、開校以来母校の中心として昨年なみの実績を、世間における評価も「中堅の進学校」と言う先生が引退され、また、上野、今泉先生も退職、学校長には昨年理事長で兼任されていた山田先生にかわって、副校長の宇部先生が就任されるなど、大きな動きがありました。また、進学実績は、卒業生が少数であったにもかかわらず、滋賀大学をはじめ、早稲田、立

母校現況紹介

名誉会長 宇部 甫



本校も開校して以来六年目を迎えました。その間、皆様のご支援や後援会・協力会等々の方々のご理解によりまして少しずつではありますが順調に発展しつつあると言ってもよろしいのではないかと思います。

昨年、全校生徒七百九十九名で出発したのが、今年には九百二十九名と学則定員の九百六十名に急速に接近し、学級の数においては、定数の二十四学級（中等部九学級、高等部十学級）を確保することが出来ました。生徒の通学範囲も、大津、京都、草津、栗東が中心であることは変わりませんが、南は枚方、北は彦根と拡張されました。このように本校は、今変

わりつつある、いわば発展途上校といえるでしょう。この機を逸することなく、飛躍的に発展させようとして、学級、学校、保護者等が、一致団結して、諸々の教育活動や経営、事業に躍起となっており、そのいくつかを紹介しましょう。

1、現代は、個性化の時代、国際化の時代と言われている。その国際化に対応して、今夏三週間のニュージーランド・ホームステイ研修を実施します。参加者は願っています。その具体化

雑感

元教頭 小柳 順 吾



光泉中学・高等学校同窓会が卒業生諸君の努力で、設立・発足するにいたった事を心からお喜び申し上げます。一期生卒業から早くも三年経ちました。私は近頃しみじみ心に思うことですが、学校づくりの難しさ、困難さです。伝統もなく、学校全体の誇りと歴史もなく、生徒と教師との信頼感も少ない状態、更に周囲からの疑惑の瞳等の中で、それらの種々の困難さに対して、学校の全員

が一致協力してこれらに立ち向かい努力し続けて学校づくりの情熱を傾けてきました。私にとってこの五年間は本当に短い年月であったと感じています。一般に云われている事ですが、日本人は模倣は上手だが創造性に欠ける面がある。私の心は「老兵は消え去るのみ」の心境といったところですが、最後になりましたが、多忙な所同窓会の世話係としていただいた卒業生、先生方に、心から感謝し、御礼を申し上げます。



海外旅行・国内旅行・観光バスの御用命は 近江鉄道草津旅行センター

(所長 植田重弘)



草津市大路1-1-1 L'ty932 1F

TEL 0775-65-8103 FAX 0775-64-6450